

南大阪沖縄現地学習会報告

絶対に基地はいらない!

皇一金属支部の

五月二十七日から、二泊三日で沖縄現地学習会にN委員長と参加させて頂きました。

六時五〇分に弁天町に集合して、K書記長の車で、伊丹空港に送って頂きました。

伊丹空港に到着すると、各労組の人々が集合していて、全員で十五名の参加者で沖縄現地学習会がスタートしました。

八時四五分発の飛行機で、沖縄那覇空港に向かいました。

十一時ちようど位に、

那覇空港に到着すると、大阪とは全く違う暑さで、梅雨の時期の中、休みでかなりの暑さでした。

そこから一日目の目的地である、辺野古座り込みキャンプシュワブ前に向かいました。

十三時前に座り込みキャンプシュワブ前に着きました。沖縄に出発する前に、米軍軍属のアメリカ人が、レイプで若い日本人が殺された事もあり、

基地の問題もあり、凄いいことになっているだろうと思ひ、座り込み現場に

入りました。

座り込みの場所では、全国各地から座り込みに、一〇分でも三〇分でも、全国の仲間が集まると聞きました。

十三時三〇分から十五時まで座り込みを行い、



キャンプシュワブ前の座り込み場

座り込みをしている最中に、集会に飽きない様に、歌を唄ったりで、大阪での集会とは一味違う雰囲気でしたし、デモをやる予定では無かったみたいだったけど、大阪から応援に来てくれているとの事で、小規模のデモを、キャンプシュワブゲート前で、二〇分程度行いました。

デモでも、大阪との雰囲気の違いにビックリし、米軍の車両が、外に出ようとした時、デモの足を停めて、レイプ殺人の後だったので、外に出ようとしている車を停めての抗議は凄まじかったです。

五月二十七日で、六百九

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

十一日の座り込みが断行
中でした。

二時間程度、座り込み、
デモをやった後に、辺野
古の海にある、テント村
に移動しました。

テント村では、二年前
とは違う光景が待ってい
て、フェンスだらけになっ
ていました。

テント村の、新基地建
設阻止の闘争が始まって、
五月二十七日で、四千四百
二十二日間になっていま
す。これからも、基地が



無くなるまで闘いは続く
と聞きました。

その後、一日目の予定
が終了し、名護市内のホ
テルに向かいました。

十八時三〇分頃から、
夕食をしながら交流会が
スタートしました。

五月二十八日(土)

いい天気の中、二日目
がスタートしました。

名護市内のホテルを出
発してから、初めに、ア
ジア最大の米軍基地が見
える「嘉手納道の駅」に
向かいました。

嘉手納基地は、伊丹空
港の約六倍の広さだそう
です。

道の駅で、違憲共闘会



議長長の有銘ありのさんの話を
聞きました。話を聞いて
いる最中にも、米軍の飛
行機が飛び交い、凄まじ
い爆音で、話す声が聞こ
えづらかったです。

嘉手納基地には、米軍
の弾薬庫があり、陸軍、
海軍、空軍の弾薬が全て
あり、嘉手納から弾薬を
運ぶ事もあると聞しまし
た。

その後、チビチリガマ
に向かいました。チビチ
リガマでは知花昌一さん

の説明を聞きました。

チビチリガマは、八三
名が集団自決をし、二名
が、米軍に撃たれ死亡し
たと聞き、チビチリガマ
の中に、入らせて頂き、
入り口は、天上が低く、
中に入ると七一年たった
現在でも、遺骨が転がり、
入れ歯が落ちていたり、
色々な物がまだまだ有り
ました。



チビチリガマ

懐中電灯を消すと、暗闇が広がり、二〇センチ位離れている人も見えなかったです。

チビチリガマから少し離れた、シムクガマでは、一〇〇名近い人が全員助かっているのに、チビチリガマでは、八五名が死んでしまったのは、色々と考えさせられました。

その後、金城実さんのアトリエに行くも、夫婦が留守で、アトリエを見学して、憲法九条の碑がある読谷村役場に向かいました。

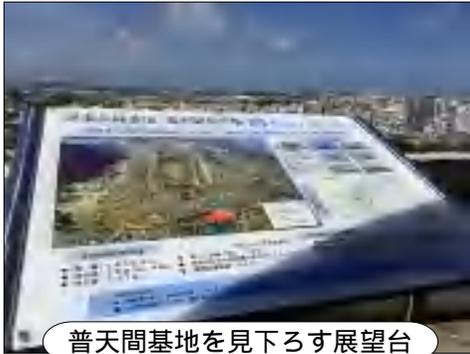
読谷村役場は、米軍基地の中に、建てられた初めての役場で、憲法九条の碑が建っている役場は、

読谷村役場が初めてだそうです。

沖繩本島には、四つの九条の碑が建ててあります。

その後、昼食をした後に、嘉数高台、普天間基地が一望出来る高台に行きました。

高台に向かう最中にも、戦争の後が、生々しく残っていて、京都の軍人が、



普天間基地を見下ろす展望台

この地で、約二五〇〇名程の人々が死亡したと聞き、黙祷をして、普天間基地が一望出来る高台に向かいました。

普天間基地の周りには、住宅地が広がり、基地の中には、オスプレイが停まっております、滑走路は、遠目から見ても歪んでおり、かなりの老朽化を感じましたし、危険と感じました。けど、辺野古に基地は、いららないと思います。

二日目、最後の目的地、沖繩国際大学に向かいました。

二〇〇四年八月十三日、十四時頃大学ビルに、米軍ヘリが墜落したと聞き

ました。

事故が起って、日本の土地で、墜落したのに、米軍の関係者が最優先で現場検証を行い、その後、日本の警察等が、現場に入れたと聞きました。日本国で墜落したのに米軍が先に現場検証を行うのは、何かあるのかと思いました。

そして那覇市内のホテルに向かいました。

五月二十九日(日)

九時に、那覇市内のホテルを出発して最終日、スタートしました。

初めに、南風原陸軍病院壕に行きました。

南風原の壕は、人工の



壕で、軍人を収容する病院壕だったみたいで、壕の中には負傷した軍人がかなりの数で居たみたいです。

その壕の負傷した軍人を、ひめゆり学徒隊の二百二十二名が、時間ごとに二名ずつで、百四十名の軍人を手当てしたと聞きました。

ここで、僕自身が、気がついたのは、人工の壕とガマの違いで、ガマは、自然に出来た洞窟で、壕

は、人が作った洞穴と初めて分かりました。

その後、南風原文化センターに行つて、南風原陸軍病院壕の詳しい歴史を見学させて頂きました。

陸軍病院壕の再現した物や、九〇センチ間隔で木が打たれ、手術台や、負傷した軍人が横になる場所等が、展示されていて、とても生々しかった。

その後、ひめゆりの塔に行きました。

ひめゆりの塔では、ひめゆり学徒隊の語り部の方の話を資料館の中で聞き、南風原の壕の中での負傷兵の手当てや、ご飯を二名で運んで百四十名程の軍人のご飯の用意等



をしたと聞きました。

話を聞いているだけで、悲惨さが伝わって来ました。

昼食をとつた後、魂魄こんぱくの塔、荒崎海岸に行きました。

魂魄の塔は、沖縄戦で犠牲になった沖縄の方々の塔です。毎年六月二十三日には、全国各地から慰霊に訪れると聞きました。

そこで、献花を捧げ、黙祷をして集団自決のあつ

た、荒崎海岸に行きました。

荒崎海岸は、沖縄最南端の海岸で、広大な海が広がる中、ひめゆり学徒隊の集団自決の最終地点です。

話を聞いていると、当時は、海に向こうは、数多くの軍艦があり、手りゅう弾一つを、七、八人で囲み、額を合わせて、何名の方がこの荒崎海岸で、自決をしたと聞きました。

戦後七一年たった現在は、サーフィンの有名な場所になっています。とても、感慨深い所でした。

そして、沖縄現地学習会最後の場所、平和の礎へいわのいし

に移動しました。

平和の礎では、沖縄戦で犠牲になった全員の礎が建っていて、敵、味方関係無く名前が書いてありましたが、話を聞いて

いると、韓国の方々の礎の所だけは、余り名前が彫られていなかったのが、印象的でした。

そして、平和の礎の丘の上の摩文仁の丘まで最高気温三十二度の中、一緒懸命歩き、沖縄戦最高司令官、牛島中将の自決

の場所に行きました。

丘の上には、司令官の碑が建っていて、本当に沖縄戦の凄まじさを改めて感じました。

そして、二泊三日の沖縄現地学習会が、終了して行きました。

この三日間、天候に恵まれ本当に良い学習会でした。

僕自身、思った事は、アメリカ人軍属のレイプ殺人の件での辺野古での抗議は本当に凄まじかつ

た。辺野古の海には、絶対に基地はいらないと改めて思いました。

そして、沖縄戦での地上戦の恐ろしさ、戦後七

一年たった今日でも、生々しく残っているし、これから先も、若い人々に伝えていく難しさ、平和を伝えていく事は、かなりのパワーがいると感じま

した。

した。

僕自身、大阪で出来る事を一緒に懸命し、沖縄の事を少しでも伝えられたらと思います。

今回、沖縄現地学習会に参加させて頂き本当にありがとうございました。最高の二泊三日になりました。



平和の礎の展示



戦争に協力したくない！ 労働者と市民の集会

6月16日
(木)

18時30分～20時30分

上野・名谷会館
東京都台東区上野
入場料 500円

戦争に協力したくない！労働者と市民の集会は、毎年6月16日に上野・名谷会館で開催されています。今年も、戦争に協力したくない！労働者と市民の集会を開催します。戦争に協力したくない！労働者と市民の集会は、毎年6月16日に上野・名谷会館で開催されています。今年も、戦争に協力したくない！労働者と市民の集会を開催します。戦争に協力したくない！労働者と市民の集会は、毎年6月16日に上野・名谷会館で開催されています。今年も、戦争に協力したくない！労働者と市民の集会を開催します。

戦争に協力したくない！労働者と市民の集会は、毎年6月16日に上野・名谷会館で開催されています。今年も、戦争に協力したくない！労働者と市民の集会を開催します。戦争に協力したくない！労働者と市民の集会は、毎年6月16日に上野・名谷会館で開催されています。今年も、戦争に協力したくない！労働者と市民の集会を開催します。

主催 大分労働者会連盟
大分社会文化活動センター 代表 加藤 誠

後援 大分県労働組合連合会
大分県労働組合連合会 代表 加藤 誠